

公益財団法人 ^{に っ き} 日 揮 ・ ^{さ ね よ し し ょ う が く かい} 実 吉 奨 学 会

設 立 趣 意 書

技術の振興は、国際化時代を迎えたわが国経済・産業にとってますます緊急かつ重要な課題となっております。戦後のわが国が従来からの繊維工業、造船業、鉄鋼業、機械工業、精密工業に加えて、さらに自動車工業、電機工業、石油精製、石油化学工業等を発展せしめ、文字通り、重化学工業国としての国際的評価を勝ち得てまいったことは、日本人本来の優秀な資質と勤勉さ、ならびに官民一体となった産業開発努力によるところ大なるものがあります。しかしながら、これら諸工業の技術面について考えてみる時、そこにはなお一部の欧米諸国に劣る面も見出されるのでありまして、今日の如き原子力工業、宇宙産業までも包含する国際的技術革新の時代にあっては、さらに総合的なわが国自体の技術開発、およびその基礎となるべき自然科学の学術振興、ならびに高度な科学者、技術者、研究者のより一層の助長育成が必要とされているのが現状であります。かくして科学技術に携わる者を助成し、わが国の科学的基盤を一段と強固なものに高めていくことは極めて緊要のことです。

故実吉雅郎氏(がしや まつ 1893-1967)は生前 40 年の長きにわたって、プラント・エンジニアリング事業(日揮株式会社)を主宰する中で、とくに国際的信用のバックボーンとなるべき産業技術の涵養と、世界に通用する科学者、技術者、研究者の育成とに強くかつ深い情熱を注ぎ、科学技術による国威の昂揚に努められました。ここに同氏の強い遺志に従って、財団法人実吉奨学会を設立し、技術を究めんとする真摯な学徒を援護すると共に、広く科学技術の研究を奨励助成し、もってわが国における自然科学の振興、ひいてはわが国経済、産業の発展にいささかなりとも寄与せんとするものであります。

なにとぞ本事業の意あるところをご理解いただき、ご賛同ご支援をお願いする次第であります。

(設立年月日：昭和 43 年 3 月 1 日)

《 ご 参 考 》

当会の事業は次の 3 つの制度が大きな柱となっています。

1. 貸与奨学金制度

大学および大学院に在学し、主として、理工系の学科を専攻する日本人学生対象
(2011 年度より新規募集を停止)

2. 給与奨学金制度

大学および大学院に在学し、主として、理工系の学科を専攻する日本人学生および
外国人私費留学生対象

3. 研究助成制度

大学の若手研究者(正教員)対象

この留学生奨学金(第二種給与奨学金)は 2 の事業で、当会が指定する大学を通じて、私費留学生に支給するものです。

2015 年